# 滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和4年度第1回滋賀県がん診療連携協議会 緩和ケア推進部会
開催日時	令和4年7月7日 (木) 18時~19時30分
開催方法	Zoomによるweb開催
開催方法出席者	
欠 席 者	滋賀県がん健康医療福祉部 田村 奈那子 滋賀県立総合病院 米澤 寿裕  【オブザーバー】 滋賀県立総合病院 岡村 理  【事務局】 滋賀県立総合病院 田井 佑樹 (※敬称略・網掛けの方は今年度より新規)  彦根市立病院 黒丸 尊治 彦根市立病院 秋宗 美紀 公立甲賀病院 井上 由美 済生会滋賀県病院 権 哲 近江八幡市立総合医療センター 赤松 尚明 ヴォーリズ記念病院 奥野 貴史 岩本整形外科 岩本 貴志 滋賀県医師会 堀出 直樹 滋賀県がん患者団体連絡協議会 奥井 さよ子 (※敬称略・網掛けの方は今年度より新規)

## 議事概要

#### 【審議事項】

# 1. 令和4年度緩和ケア推進部会の取組みについて

令和4年度の取り組み計画として、アクションプランシートとPDCAチェックリストを活用していく。アクションプランシートについては今年度についても「緩和ケアの推進」を目標として設定し、各種研修会等のスケジュールについて説明。PDCAチェックリストについては、昨年度から継続しPlan(計画)を「緩和ケア研修会の受講率」、Do(実行)を「滋賀県緩和ケア研修会の実施」に設定。

なお、今年度の緩和ケア推進部会は3回開催予定で、次回は11月を予定。開催方法については新型コロナウィルスの感染拡大状況を見ながら柔軟に対応していきたいと考えている。

## 2. 滋賀県緩和ケア研修会

現状、公立甲賀病院・大津赤十字病院にて開催済み。

<公立甲賀病院>

修了者数12名。参加者は原則、院内のみ。研修会はスムーズに進行し特段改善点等もなし。

<大津赤十字病院>

修了者数24名。参加者は病院方針により院内のみ。次回はコメディカルも対象とする 方針。積極的な発言もあり良い研修会となった。

次回第3回は滋賀県立総合病院にて開催予定。院外も受講可能にて受付中。申込締切は7月12日を予定。

# 3. ELNEC-J研修会について

本年度は開催施設数増加(一部、施設間での共同開催もあり)。各施設をZoomで繋いだ ハイブリッド開催。

申込みについては各施設で取りまとめ8月15日(月)部会必着。なお、本年度より申込書の住所欄は削除。

# 4. 世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座について

本年度は10月10日(月・祝)に開催予定。

コロナの感染状況によってはオンデマンド配信に切り替える可能性も有り。9月10日頃にオンデマンドに切り替えるか判断予定。オンデマンドの場合は滋賀医大にて特別講演を録画し、配信行う予定。

# 5. 滋賀県緩和ケアチーム研修会について

第5回を本年9月17日(土)に大津赤十字病院にて実施予定。

拠点病院での開催となるが、拠点病院が研修会を進めていける力をつけ、拠点病院以外の施設との地域での交流を目指していく。

## 6. 病棟の運営状況と面会制限について

<滋賀県立総合病院>

通常の面会許可(同時3人まで、30分まで)に加えて6月から付き添い許可を設けた。 コロナワクチン3回接種済みの方2名(固定)は9時~21時の間で付き添いが可能。

#### <公立甲賀病院>

緩和ケア病棟独自の基準はなく、病院全体の基準に従っている。7月より1人・1回・30分面会可能となった。特殊な事情として、緩和ケア病棟が1階にあることから、窓越し面会が可能となっている。

#### <大津市民病院>

病院全体としては面会禁止。病棟の判断で面会許可。緩和ケア病棟は5人のリストを 作成し、1回15分・1日4人・同時に2人まで面会可能。

病状進行した患者へは付き添いを許可。1日3人まで、24時間付き添い可能。

# <ヴォーリズ記念病院>

3親等の家族(原則、中学生以上)、1回につき2名まで、週2回面会が可能。時間は午後からの面会。病棟(2階)ではなくデイケアルーム(1階)にて面会。

病状悪くなった患者は主治医の許可のもと付き添いが可能(3親等の家族)。1週間~2週間見込める患者については、9時~17時は3名、夜間は1名に限定。日にち単位の患者については夜・昼間わず3名に限定。

## <大津赤十字病院>

6月までは「面会禁止」。7月より「面会制限」に緩和。事前に許可を取り面会実施(身近な人物、時間等も制限あり)。感染状況次第ではルールが変わるかもしれない。

# <市立長浜病院>

6月までは原則、面会禁止であったが、7月より一部緩和。

## 7. 在宅医療との連携強化について

COVID19流行下で在宅療養、在宅看取りが増加。災害時の緩和医療の提供(様々な場面において患者の生活・人生を踏まえた切れ目のない適切な緩和ケア提供)が課題。がん医療の外来化。医療機関の役割分担と地域連携の強化。

→実態把握が必要。

(在宅看取り数、地域との連携勉強会、CFの実施状況、緩和ケアが提供できる 連携在宅医の数・所在、ICTの活用状況)

→すぐにデータは出ないが、改めて確認しておく(滋賀県がん健康医療福祉部)。

「地域緩和ケア連携調整員」という仕組みが各地域にあるか。そもそも仕組み、活動 内容を把握しているか。把握していない場合は次回部会までに活動内容、連携できる内 容等の報告を依頼したい。

#### <滋賀県立総合病院>

日頃から連携がある訳ではない。病院内に2名、地域包括センターに1名おり、在宅医療マップの作成等行っている。

# <滋賀医科大学附属病院>

院内で何名かは受講している様子。

# <大津赤十字病院>

詳細不明ながら3名受講したのでは。具体的な活動はできていない様子。

# <市立長浜病院>

令和2年度に2名受講。令和3年度は受講者募集もなし。令和4年度は3名受講予定。 令和2年度参加者は現状、具体的な活動はなし。

PCT・PCU、在宅緩和ケアを提供する診療所とともに、地域での効果的・効率的な緩和ケアを提供する体制を整備したい。[行政との連携協力体制、基本的緩和ケアの普及、病院全体での取り組み、人材配置(心理士・事務員)、インセンティブ、一般市民への啓発等]

# 8. 連絡事項

<滋賀県がん患者団体連絡協議会>

2019年に滋賀県がん患者アンケート調査を実施したが、本年度、第2回のアンケート調査を実施予定。比較のため質問内容は前回と同様であるが、自由記述欄を追加。アンケートの協力をお願いしたい。

その他 特になし

以上のとおり報告します。

令和 4年 7月 11日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

緩和ケア推進部会 部会長 花木 宏治